

各位

会社名 空港施設株式会社

代表者名 代表取締役社長執行役員 田村 滋朗

(コード番号 8864 東証プライム市場)

問合せ先 執行役員 粟野 陽史

(Tel 03-3747-0251)

東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更申請に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更の申請を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、2022年5月に「FY2022-FY2028 空港施設グループ中長期経営計画」を発表し「空港内外で価値を創造するオンリーワンの存在へ」を長期的に目指す姿と定義し、これまでの当社の歴史の中で培ってきた知見を活かし、空港内外でお客様からの信頼に誠実に応え、安全・安心な施設、サービスの提供を行うことを通じて、航空及び社会へ貢献する独自の存在価値を発揮し続けてまいりました。

2025 年 5 月には、本計画公表後約 3 年が経過するなかで、当社を取り巻く事業環境が大きく変化したことも踏まえ、改めて重点施策の進捗等、事業戦略を精査し、また、当社の特性を踏まえた資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、当社の中長期経営計画の見直しを行い、2025 年 5 月 9 日付「中長期経営計画(FY2022-FY2028)の見直し及び資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」にて本計画の見直しを公表いたしました。

上記計画見直しを進めるにあたり、当社のありたい姿を目指す上で相応しい上場市場について整理検討した結果、当社は、現状、すべてのプライム市場の上場維持基準に適合しておりますが、上場維持基準への安定的な適合と機動的な自己株式取得といった資本政策を両立し、限られた経営資源を事業戦略に振り向けることで持続的な企業価値向上を目指すため、スタンダード市場への変更が相応しいとの結論に至りました。

今後、準備が整い次第、速やかに申請を行いますが、本件に関して開示すべき事項が生じた場合には、 速やかに公表いたします。

市場区分の変更により、資本コストや株価を意識した経営をはじめ、上場企業として求められる体制や対応に変更はありません。今後も、当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

(ご参考) 2025 年 5 月 9 日付「中長期経営計画 (FY2022-FY2028) の見直し及び資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」

https://www.afc.jp/wp/wp-content/uploads/media/dc5433da4b0e1f85ddeee2eb22f75aab.pdf